



中国やベトナムをはじめとする世界の情報を発信しています



組合新聞

2014年6月号

発行：国際ビジネス情報協同組合

5月25日に女子サッカーアジアカップがベトナムホーチミン市で開催
日本代表のなでしこ JAPAN が前回優勝者のオーストラリアを1-0で下し初優勝!

この日、夜の12時頃までテレビ観戦して朝が大変でした
以前、山東省で日本男子とバーレーンの試合を観戦しましたが
中国人が今にも襲ってきそうな顔で罵声を浴びせられたものです
今回はベトナムで良かったです

27日にもワールドカップの壮行試合が行われ
男子日本代表とキプロス代表が戦いましたが
日本代表が1点を奪い勝利しています

6月からのFIFAワールドカップブラジル2014が楽しみですね♪
なでしこ JAPAN!! 優勝おめでとう!!

～6月号掲載内容～

- *日本拾い読み～貿易収支
 - *集团的自衛権
 - *農協解体
- *ベトナム VS 中国
 - *ロシア
 - *ロシア・中国
- *実習生の現在
- *ベトナム情報
- *ありがとうの一言で
- *和歌山市長不出馬宣言
- *投資等のお話
- *組合では

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先：info@ibia.or.jp

日本拾い読み～貿易収支

貿易収支は8089億円の赤字で22ヶ月連続です。

赤字の幅は消費税前の駆け込み需要の反動で輸入が鈍化し、その幅は前年比7.8%縮小しました。輸出は前年比5.1%増の6兆692億円と14ヶ月連続で増加し、一方輸入は前年比3.4%増の6兆8781億円で4月としては最大でした。一刻も早く本格的に景気回復して欲しいものです。

集団的自衛権

安倍首相は警戒心を抱く国民に対し、同盟国の防衛で自衛隊がより積極的な役割を果たす必要性を納得させるという困難な課題に直面しています。

普通の国になるのは相当難しそうですね…日経新聞を見てみると反対47%、賛成37%と書いてありました。日本で愛国と言えれば右翼だと言われ悪く思われ、中国では愛国無罪となるのです。

米国の傘下で安住しているのが良いとしても、日本人スタッフのボランティア活動中に武装集団に襲われても自衛隊が助けに行く事さえ出来ません。そろそろ目を覚まして欲しいものです!!

創価学会の池田大作名誉会長と中国との関係が非常に深い事は周知の事実です。まさか公明党が反対しないまでも、首を縦に振らないのはそういう事からではないでしょうね!?

農協解体

政府の規制改革部が全国農業協同組合中央会(JA 全中)を拠点とする「中央会制度廃止」を提示しました。JA 全中の運営は約740ある各農協から全収入の70%にあたる80億円の賦課金と、その他の収入で賄われています。

その発足の趣旨は戦後に農家同士が支え合う事が目的で作られました。当初は食糧制度を利用しながら発展し、当時農協の農産物販売額の70%が米麦で行政の代行機関としての役割が収益増大に繋がったのです。他の中小協同組合では認められていない金融事業も認められ、米代などの代金を代理受領してコール市場に出して運用され、販売した肥料や農薬などを差し引いた余剰を貯金する事で農協預金が増えていきました。現在の実態はどうなっているのでしょうか!?

農協事業のうち農業関連事業(農業資材販売等)は赤字、金融部門では特に共済保険事業が大きな収益を上げており、預金総額は25年3月末で896,916億円、JA 共済の総資産は44兆円と日本生命の51兆円に迫っています。まさに農業部門の赤字を金融部門で賄っているという。

では…農民の意見はどうでしょう!?

農協は本来、農協の役目即ち農業者の為の農協ではなくなりました。このようになってから久しいと殆どの農家がこう言います。なぜ!?

農協は大量に仕入れるのですから価格も安くなるのが当然、しかし農薬や肥料、その他の農業者が必要とする資材は民間の一般農薬店から買う方が安いのです。おかしいですよ!?

ある設備業者がこう言います。農協に入り込もうとすると上納金が必要です。単一農協はその上部の組織に、その上部はもう一つ上の組織に挨拶料(お金)を払わなければなりません。このシステムは暴力団の上納金と同じなのでは!?

そうすると経費が高つくからと、何の改善もなく当然のように商品に上乘せし、この上乘せコストは農家が払う農薬などの資材価格に反映されます。要するに要したコストは農業者が払うのだから関係ないという機械的なシステムだけで、工夫は全くと言っていいほどありません。高くついた農産物は消費者が払えばよいと、結果的に損をするのは一般消費者なのです。

農業者の為の農協として発足したものが、今や農協の為の農協となっているのです。

一方、農家は村社会なので民間で買う事を躊躇します、本来農業関連事業(農薬・肥料)は赤字であるはずがないものを赤字としているのです。まるで官庁の人間が商売しているみたいです。

一方、小泉政権の時に金融部門を解体しようとして出来ませんでしたでしたが、今度は本気なのでしょ

うか!?! 結論と言いましょ…まず出来ません、そこをよかろうになるでしょう。

これは TPP を踏まえて米国は農業部門の城の明け渡しを迫っています。TPP 交渉で農協の横槍にジャブを出し、政府の言う事に従い譲歩しなければ解体すると脅かしを加えたのでしょうか。

こんな見方もあります。米国はじめ民間金融機関は農協の預金が欲しくてたまりません。解体すれば我々のものになる…と手ぐすね引いて待っていると。

殆どの農協の上部にいる役員達は土を相手に汗をかいた事がない農業者以外の者です。農協の偉い人は農業の事態が分からず、農協の為の農協を運営しているのです。これでは農業者の為の農協事業を行えるかに疑問があるのではないのでしょうか!?!

遅かれ早かれ解体とまでは至らなくても、TPP が農業分野に及ばなくても何らかの改革が必要であり、必ず問題が出てくる事が予想されます。

ベトナム VS 中国

このところ中国の南シナ海に対する侵略には激しいものがあります。地図を見れば一目瞭然ですが、中国の海南島のはるか南のブルネイを超えマレーシアのすぐ前まで、東はフィリピンの沿岸まで、西はベトナムの沿岸までを領有範囲としています。良識のある人なら中国は何を考えている!!と言うのですが、そこは何でもアリの中国です、恥も外聞も持っていない国なのです。

フィリピンの南沙諸島の暗礁で中国が埋め立てし陸地とする拡張をしています。フィリピンは中国と東南アジア諸国連合 (ASEAN) が 2002 年に領有権争いの平和的解決を唱えて署名した「南シナ海における関係国の行動宣言 (DOC)」に違反すると主張しています。

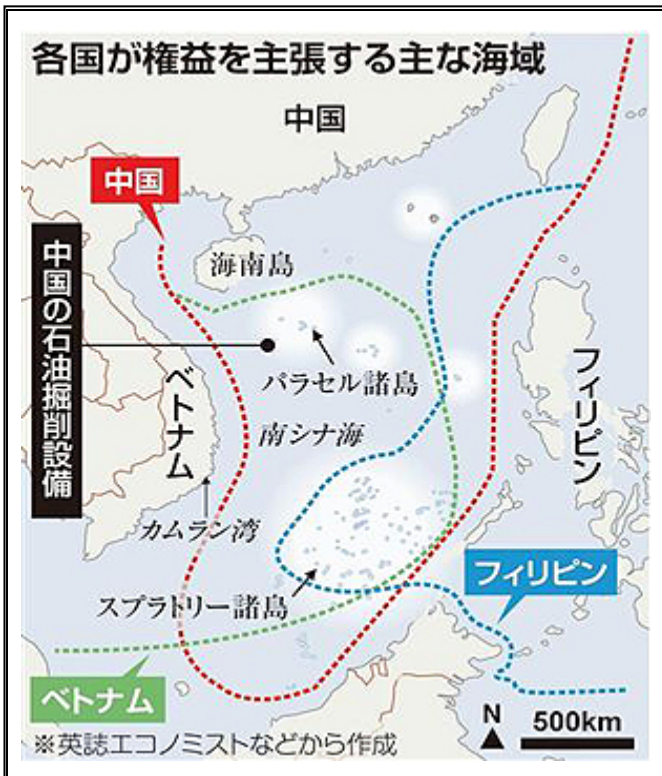
この宣言では二つの事が謳われており、第一は領有権をめぐる紛争の平和的解決を目指し敵対的行動を自制する事、第二は軍関係者の相互交流や環境調査協力を実施する事で信頼醸成を高めていこうというものです。係争国同士の対立激化を受けて 2011 年には ASEAN 諸国と中国は DOC を発展させ、より拘束力のある行動規範の策定に取り組む事で合意しましたが、これには内部でも意見の対立があり、争点は行動規範を策定する上で DOC の二つの側面のどちらを重視するかなのです。

フィリピンやベトナムは DOC の第一の側面を重視、中国は第二の側面を重視しています。

また、フィリピンは中国の南シナ海における領有権主張に反対し国際海洋裁判所に提訴しました。裁判長は 2011 年に就任した柳井俊二氏で日本人です。

ベトナムではパラセル諸島 (中国名 : 南沙群島) に中国が石油掘削装置を設置した事に端を発し、西沙諸島近海では両国の船が衝突し、いずれも相手の船舶が接近してきたと批判合戦を続けていますが、ベトナムからのビデオを見る限り中国の船舶が意図的に衝突してきた事には間違いがありません。





また中国の監視船はベトナム漁船に停戦を求め、船に乗り込み漁具を破壊して魚を持ち去るなど、まるで海賊であると非難しています。これを知ったベトナム民衆は怒り、大規模なデモによる抗議をしました。一部は暴徒化し漢字の名前のある会社に押しかけて破壊や放火、現場で働く中国人数人が死亡、数百人が負傷したのです。

台湾企業はベトナム政府に損害賠償を求めるとし、中国はベトナム政府に中国人を攻撃する人々の暴力を阻止し、彼らを罰するように求めました。

中国の日本企業が攻撃された時はどうだったのでしょうか。日本の会社は日の丸を掲げて中国企業でない旨を示しました。

5月11日、ミャンマーの首都ネピドーで開かれた東南アジア諸国連合の会議で南シナ海問題の秘話

的解決などを謳ったネピドー宣言を採択し、覇権行動を活発化させる中国を牽制しました。ベトナムのズン首相は「中国は一貫して危険で深刻な違反を積み重ねてきた」と批判し「あらゆる外交ルートを通じ駆使して中国に訴えてきたが善意は伝わらなかった」と訴えました。

ASEAN 諸国 10ヶ国は、明日は我が身と結束を強調し、同宣言を採択したものです。これは決して他人事ではありません。日本とて、いつ尖閣に中国軍隊が攻め入り沖縄は中国の領土だと言い出すか分かりません。こんな中国に ODA (政府開発援助) を未だに続けており年間 300 億円…信じられません。

ロシア

ロシアはウクライナのクリミア半島をロシア領土に組み入れましたが、住民の 90%以上がロシアに組み入れることに賛成したとされています。ここで少しおさらいしてみましょう。

昨年 11 月、ウクライナはヤヌコビッチ大統領(当時)が 3 年前にライバルの欧州(EU)よりのチモチェンコ大統領(当時)を破って大統領になりました。新大統領になったヤヌコビッチ大統領は舵をロシア側に切り始め、EU と協定を結ぶはずでしたが突然署名を取止め、これに反対する野党勢力は大規模な抗議行動を起こしたのです。

一方、当時の大統領は警察、軍隊を出動させ 100 人を超える人が亡くなりました。デモ隊は今年 2 月にも市役所などを選挙し政権は崩壊、ヤヌコビッチ氏はロシアに逃げたのです。ロシアはこれをクーデターと言って認めずロシアの基地があるクリミアをロシアの武装部隊が一気に掌握しました。このクリミア半島はロシア系住民が 6 割、半島全域で住民投票を行いロシアに併合されたのです。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先 : info@ibia.or.jp

日本を含め西側諸国はこれに反対し、国連総会において住民投票の正当性がなく併合は無効だとする採択がされ、ロシアに対する制裁をしています。ロシアにとってクリミヤ半島は軍事的重要な地であり黒海艦隊の本拠地なのです。現在まで海軍はウクライナとの契約で駐留してきましたが、親欧米政権が生まれると危険になり今回の併合に至ったものです。

また軍事基地だけの問題ではありません、天然ガスの欧州へ続くパイプラインがウクライナ国内にあります。欧州の天然ガス需要の 1/4~1/3 はロシアから供給されています。欧州はこれをロシアから止められれば欧州経済は窮地に陥ります。しかしロシアの経済も天然ガスを武器として強気な交渉は出来ません。その理由は、ロシアの GDP は 200 兆円位しかなく、EU の 1/6 程度でロシアは無理をして軍事大国としています。天然ガスは外貨獲得に大きく貢献しているのです。

米国はというと、シェール革命によりロシアを超える天然ガスの生産量があり、自給出来る見通しがありますが、ロシアを牽制する為に輸出する程の生産量はありません。

ロシア、米国、EU はこれらの状況をよく理解しています。ロシアがガス供給を止めたり、米国が EU に輸出する可能性は極めて低く、ギリギリのところまで妥協せざるを得ないというのが現在の状況なのです。

ロシア・中国

5月20日、中国の習近平国家主席が上海で中露首脳会談を行いました。

東シナ海の尖閣列島、南シナ海でのベトナムとフィリピンとの紛争で孤立化しつつある中での援軍が来たのです。言うに及ばずロシアのプーチン大統領です。

中国はウクライナ問題でロシアに対する理解を示し、共同声明ではウクライナの南部クリミヤ半島のロシア編入には対露制裁を強化している欧米に対し、一方的な制裁に反対する事で一致し欧米との対抗姿勢を印象付けました。

また、主権保護、領土保全、安全保障などで強固な相互支援を継続すると明記、一方では歴史改ざんと戦争秩序の破壊に反対するとして、第二次大戦終結の 70 周年記念行事を合同で開催する事を合意しました。両首脳は尖閣諸島にある東シナ海で初の両軍海軍の合同演習式に出席し、軍事面での連携をアピールしました。

ここで注目すべきは中露会談で 2018 年からの 30 年間、4000 億ドル(40 兆円)で最大 380 億 m³ の天然ガスをロシアから中国にパイプラインを建設し供給する事に合意した事です。

ロシアが中国の欲しがっているロシア製の最新戦闘機スホーイ 35(SU-35)の売買契約は成立しなかったようですが、この戦闘機は日本が導入しようとしている F-35 の脅威になる可能性があります。

ではなぜ正式契約に漕ぎ着けなかったのでしょうか。

中国側が技術サンプルとして少数だけ導入したい意向でロシア側と対立し契約は纏まらなかったようです。この技術サンプルが味噌なのです。ロシアから技術を盗み自国で開発するということだろうし、現在まで中国が導入した戦闘機のコピーで造っているという、正に国を挙げてのコピー泥棒ですね。

さて、声明だけを見れば“蜜月”演出したように見えますが決してそうではありません。中国とロシアは米国に対し横暴な振る舞いによって阻害されていると感じている事は間違いありません。これにも増して中露国境が非常に長くお互いに常に不信感を持っています。ロシア側では戦術核兵器の多くは中国に向けられている事からみても明らかです。

実習生の現在

当組合では現在実習生の13名が企業に行く前の講習を受けています。男子6名、女子7名で出身国は中国・ベトナム・タイの3ヶ国です。日本語と日本の慣習などを勉強して企業に赴任するのです。

ご承知の通り、中国はパラセル諸島に石油掘削装置を取り付けようとしてベトナムとの関係は険悪な雰囲気、タイは軍部のクーデターで混乱しています。しかし実習生達は仲良く同じ寮に住んでいるのです。

こんな事を考えると慣習は違うものの、人間としての心が同じなのだと考えさせられます。



ベトナム情報

近頃、外国人実習生の受入れを中国からタイ・ベトナムへとシフトする企業が増えてきています。その理由を聞いたところ…色々な考え方がありました。

その一つがチャイナ・プラスワンです。

尖閣諸島問題を契機に中国国内では反日デモが活発化し、今も反日感情はくすぶり続けていますが、中国に工場などの生産拠点を構えている日本企業には、反日デモ・賃金高騰・公害問題・知的財産の流出などが影響し、生産拠点を中国以外の国にも持つように…という考え方です。

中国だけに集中させた場合のリスク回避としてインドネシア・タイ・ベトナム・カンボジア・ミャンマーが候補として挙げられています。

チャイナ・プラスワンと言うだけの事があって生産拠点のメインはあくまでも中国で、他国に拠点を置いた所で中国が主体なのですからリスク分散になるのかどうかは考えものです。

中国との関係が悪化し、日本との関係が良好になってきているベトナムの概略を少し紹介させていただきます。

面積	329,560km ²	平均年齢	27.4歳
人口	約8,400万人	通貨	ドン(VND)現在1円=約222,00ドン
首都	ハノイ	国番号	84
日本との時差	-2時間	GDP	1人当たり1,527ドル(2012年推定)

GDP(国内総生産)は広島県と同じぐらいで、労働人口の66%が第一次産業、観光業が外貨獲得手段となっています。通貨はドンですがドルが殆どの場所で使え喜ばれます。しかし、現在ではドル表示は禁じられるようになっています。

物価は年率15%位上昇しており、人件費は中国の60%とされています。(インフレ率15%)

産業)

産業は農業が中心で米作その他、コーヒーは世界第2位です。このコーヒーはインスタント・缶・ペットボトルのコーヒーの原料となります。現地での飲み方は独特でフランスの植民地時代が長かった為にフランス流の飲み方をします。

石炭、石油、スズ鉱物資源、天然ガスなども産出されます。

政治)

ベトナム共産党一党独裁制度で党員は360万人、ベトナム共産党と衛星政党以外が禁止されています。

党内序列

1位：書記長	グエン・フー・チョン
2位：国家主席	チュオン・タン・サン
3位：首相	グエン・タン・ズン

外交と軍事)

ベトナムは約1千年もの間、中国王朝に支配されてきました。938年ゴ・クエンにより独立を果たしましたが、フランスの植民地(フランス領インドシナ)、ベトナム戦争、中越戦争を経て現在のベトナム政府となっています。

中国との関係)

序列1位のベトナムの書記長、3位の首相は親中国とされていますが、南沙諸島・西沙諸島問題などで中国との関係が悪化しています。

米国との関係)

ベトナムは米国に対して戦勝国です。戦争に負けた国あるいは撤退したとも言われる米国とは決して仲が悪いと言う事ではありません。現にベトナムでは貨幣のドンよりドルの方が喜ばれます。

TPP(環太平洋パートナーシップ)にも交渉参加しています。中国との南沙諸島の領有権の問題などの関係から、より緊密な関係になってきています。

ベトナム国内感情)

ベトナム国内では北ハノイと南ホーチミンの住民の関係は決して穏やかでないように見受けられます。政治の中心地ハノイ、商売の中心地ホーチミンとその違いから人の心も違います。

宗教)

大半は仏教ですが他に道教やカトリックもあります。仏教は大乗仏教で中国から入ってきた為です。

交通手段)

ベトナム人は圧倒的にバイク、この他にはバイクタクシー、タクシー、バスなどを利用します。
祝祭日)

正月	1月2日から	解放記念日	サイゴン陥落
テト	旧正月	メーデー	解放記念日と続く連休
フンヴォン	紀元前にベトナム北部を初めて統一したとされる文郎国王を祭る日	ホーチミン主席誕生日	

日本人とベトナム人)

日本人に気質が似ていると言われていますが、違う所も沢山あります。

例えば、日本での挨拶は「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」ですが、ベトナム人同士ではそれらの言葉全てを「シンチャオ」と言うのです。ですがベトナム人同士で「シンチャオ」と挨拶するのは非常に稀です。少し親しくなると老若男女問わず「どこ行くの?」「ご飯食べたの?」と挨拶します。面白いのがこれらは挨拶なので答えなくても良いという事です。

ベトナム人は仕事より家族を大事にします。仕事帰りに一杯ではなく、仕事が終わったら家に帰って家族と一緒にご飯を食べ子供と遊びます。

また、ベトナム人はプライドが高く、人前で叱るのではなく個室に読んで諭す配慮が必要で、この部分は中国人と似ていますね。

ベトナム国民気質)

ベトナム人の国民性は一般的に4つのKで表されるといいます…それは!?

—器用—

着物や西陣織の刺繍では不良品率が1%未満と極めて低い

ベトナム人の財産であるバイクや機械修理を自分でする

—向上心・向学心—

ダブルスクールや習い事をしている人が圧倒的多数で新しい知識を吸収しようとする

—近視眼的—

金銭感覚は「明日の100万より今日の10万」なので店舗の開店・撤収も早い

土産物を買う時は吹っかけてきますので注意が必要です

—カカア天下—

実質経済を動かしているのは女性です、ベトナムの女性は働き者で優しく気が利きます
信頼)

一度人を信用すると一気に心を開き、その人の言う事は絶対的に信用します。=

少しはベトナムを知って頂けたでしょうか!?

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先 : info@ibia.or.jp

ありがとうの一言で

5月にベトナムの首都ハノイに行きました。

日本人、中国人、韓国人が沢山旅行や仕事で来ていますが、どの国の人も同じような顔です。

でもベトナム人は私を日本人と見分けました。なぜでしょうか!?

お店でお菓子を買いましたが、店員の人は私と同行したベトナム人に「あの人は日本人でしょう」と言ったそうです。

レジで精算した時に「ありがとう」と言ったのですが、この店員は日本語が分からず唯一知っている日本語は「ありがとう」の言葉だけだったそうです。

日本人と分かった理由はお金を支払って品物を受け取る時に言った「ありがとう」だったのです。感謝の言葉を言うのは日本人だけで、その店員は私の同行者にもう一言「気持ちが良いですね」と言ったそうです。

良い習慣、おもてなしの心、感謝の心、良き伝統は残したいものです。

和歌山市長不出馬宣言

昨年11月に和歌山市長は今期で8月の市長選挙には再出馬しないと表明しました。

不出馬の表明を受け、元県職員の尾花正啓氏、市会議員の遠藤富士夫氏、芝本和巳氏、元県議の浜田真輔氏などが立候補を表明しています。

ではなぜ突然に辞任宣言をしたのでしょうか…こんな噂が飛び交っています。

ある医療関係の廃棄物処理の入札がありました。その入札は医療関係の廃棄物を処理する入札ですが、入札には廃棄物を処理するのに必要な幾つかの種類の許可が必要なのです。入札期日が迫り和歌山の業者は特定の種類の許可がありません、許可を持っているのは四国にある業者です。和歌山県の業者は慌てて許可を貰いに和歌山市役所へ行きましたが、入札までに時間がありません。

そこで大橋市長に懇願しました。許可するのに必要な時間がないのに大橋市長は無理に許可を出しました。この話がチクられたのか…県警の二課(知能犯)の知る所となったのです。誰が言ったのかは想像してみてください。

県警は市長と話をし、今回の不出馬宣言となったという事です。

真偽の程は分かりませんが、まことしやかな話です。

投資等のお話

ミャンマーの車輸出)

政府の関係者から頼まれたお話で、輸出希望先が見つかり現在進行中です。

ベトナム日本語学校への投資)

現地を見て参りました。現地法人は既に日本語学校を立ち上げ、実習生や留学予定者などに利用されています。

この日本語学校をより発展させる為に政府から借り受けの許可を既に貰い用地を確保しています。この用地に学校を建設する為の資金への投資です。資金回収には5年の計画をしていますが日本政府が経済協定を結ぶ計画があり、締結出来れば日本に来る看護師などの医療関係者の養成学校としても利用出来ます。現場の写真等は当組合まで…。

組合では

実習生の受入れに際し、日本企業の受入れに支障が無きよう頑張っています。

この実習生達、6月初めに公共奉仕活動として道端の草刈りをします!!